

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

分野の役割

1. 安定期、増悪期、終末期における慢性呼吸器疾患患者とその家族の QOL 向上に向けて、呼吸機能評価や呼吸管理を行うとともに、病状の悪化予防、社会復帰に向けた支援を行います。
2. 患者とその家族に対しては、病状に応じた自己管理ができるように療養生活継続のための効果的な指導を行います。
3. 長期にわたる療養生活における呼吸器疾患に特有の身体的、社会的および心理的な問題を理解し、問題解決のための援助を行います。
4. 看護実践を通して水準の高い看護を提供し、看護職者に対しての指導や相談を受けます。

実際の活動内容

<看護外来>

慢性的な呼吸器の病気（慢性閉塞性肺疾患：COPD、喘息、肺線維症など）を抱えながら自宅で生活する患者とその家族に対し、できるだけ息切れを感じることなく生活できるような方法を一緒に考えて、生活上の悩みや不安な気持ちに寄り添いながら、その人らしい生活が送れるよう支援しています。

- 肺機能低下を予防する看護ケア
- 息切れや呼吸困難感に対する看護
- セルフマネジメント能力向上への支援
- 在宅酸素療法（HOT） 非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）
睡眠時無呼吸症候群に対する CPAP 療法

<禁煙外来>

禁煙に取り組みたい方へ健康保険による禁煙治療プログラムを12週間に渡り、計5回の禁煙治療を実施しています。

<外来看護>

通常のスタッフ業務の中で知識や技術を生かした患者および家族ケア
医療職者からのコンサルテーション
在宅スタッフとの連携や調整

慢性呼吸器疾患看護認定看護師の醍醐味

慢性呼吸器疾患は、状態が悪くなったり良くなったりを繰り返しながら、徐々に全身状態が悪化していく病気です。治療により症状が改善して楽になったと思っても、元気な頃の状態に戻ることはありません。そのため、息切れのために他者からの支援を受けることが多くなる中、普段の生活の中で自分の役割を見いだせずに喪失感に苛まれる人も少なくありません。

患者との語りの中から、息切れを軽減し安定期を長くすくすためがんばっていることや創意工夫していることをキャッチし、よき理解者となりセルフマネジメントできていることを言語化して伝えることで、患者自身が病いをもちながら役割を果たしている自分を認識することができるようになります。このような関わりができた時に認定看護師としての醍醐味を感じます。

